

LESSON TRANSCRIPT

Video Culture Class: Japanese Holidays #25 New Year's Eve

25

「大晦日（おおみそか）」とは、一年の最後の日です。旧暦（きゅうれき）ではそれぞれの月の最終日を「晦日（みそか）」と呼んでいて、12月は一年の最終月となるため、特別に「大晦日」と呼ぶのです。日本では新年になると、「歳神様（としがみさま）」がそれぞれの家を訪（おとず）れてくださると信じられていたため、年が移り変わる大晦日（おおみそか）から元日（がんど）にかけては、家族そろって自宅で過ごすようになりました。

「歳神様（としがみさま）」を迎えるために、大晦日までに各家庭ですることとは、何でしょうか。

正解はこのビデオの最後に紹介します。

年越しにあたり、いつもより豪華（ごうか）な夕飯を食べます。多くの日本人が、大晦日のイメージとして「こたつに入って一家（いっか）団欒（だんらん）」を思い描くように、この夜ばかりは外出せず、家族みんなで新年を迎えます。そして、家族そろってテレビを見ながら年越し蕎麦を食べます。台所で母親がお節（おせち）料理の準備をしている風景も、大晦日だけのものでしょう。夜が更（ふ）けてくると、心静かに除夜の鐘に耳を傾けます。

縁起（えんぎ）を担（かつ）いで、年越し蕎麦を食べます。蕎麦は、細く長い食べ物。これにあやかって、「新年も細く長く、元気に暮らせますように」という願いを込めて食べるのです。家庭によっては、夕食に食べたり、日付の変わる深夜（しんや）に夜食として食べたりします。また、行きつけの蕎麦屋で食べる人もいるので、大晦日の蕎麦屋は大繁盛（だいはんじょう）します。

大晦日（おおみそか）から元日（がんど）に変わる0時前後に、家の近くの寺院からゴーン、ゴーンと鐘の音が聞こえてきます。これが、「除夜（じょや）の鐘」です。日本仏教において年末年始に行なわれる年中行事の一つで、108回、鐘をつきます。人間には欲望や怒り、執着など108もの煩惱があるとされていて、それを取り除くために鐘をつくのです。夜更けに響く鐘を聞くと、日本人は荘厳（そうごん）な気持ちになります。

大晦日の夜には、家族みんなで楽しめるテレビの特別番組が放映されます。「NHK紅白歌合戦（うたがっせん）」が最も（もっとも）有名で、紅白どちらのチームが勝つか、年末年始には大いに話題になります。

さて、ここでクイズの答えです。

「歳神様（としがみさま）」を迎えるために、大晦日までに各家庭ですることとは、何でしょうか。

正解は「大掃除」です。我が家を訪ねてくださる「歳神（としがみ）様」に失礼のないよう、家の隅々（すみずみ）まで掃除をします。一年の間にたまった埃（ほこり）や汚れをきれいに掃除することで、清らかな気持ちで新年を迎えることができますからね。11月中旬頃（ちゅうじゅん）から、ホームセンターやスーパーなどには「大掃除グッズコーナー」が特設（とくせつ）されます。

いかがでしたか？

はじめて知ったことはありましたか。

皆さんの国では、「大晦日」に何をしますか。

是非、JapanesePod101.comのコメント欄で教えてください。

それでは、また！